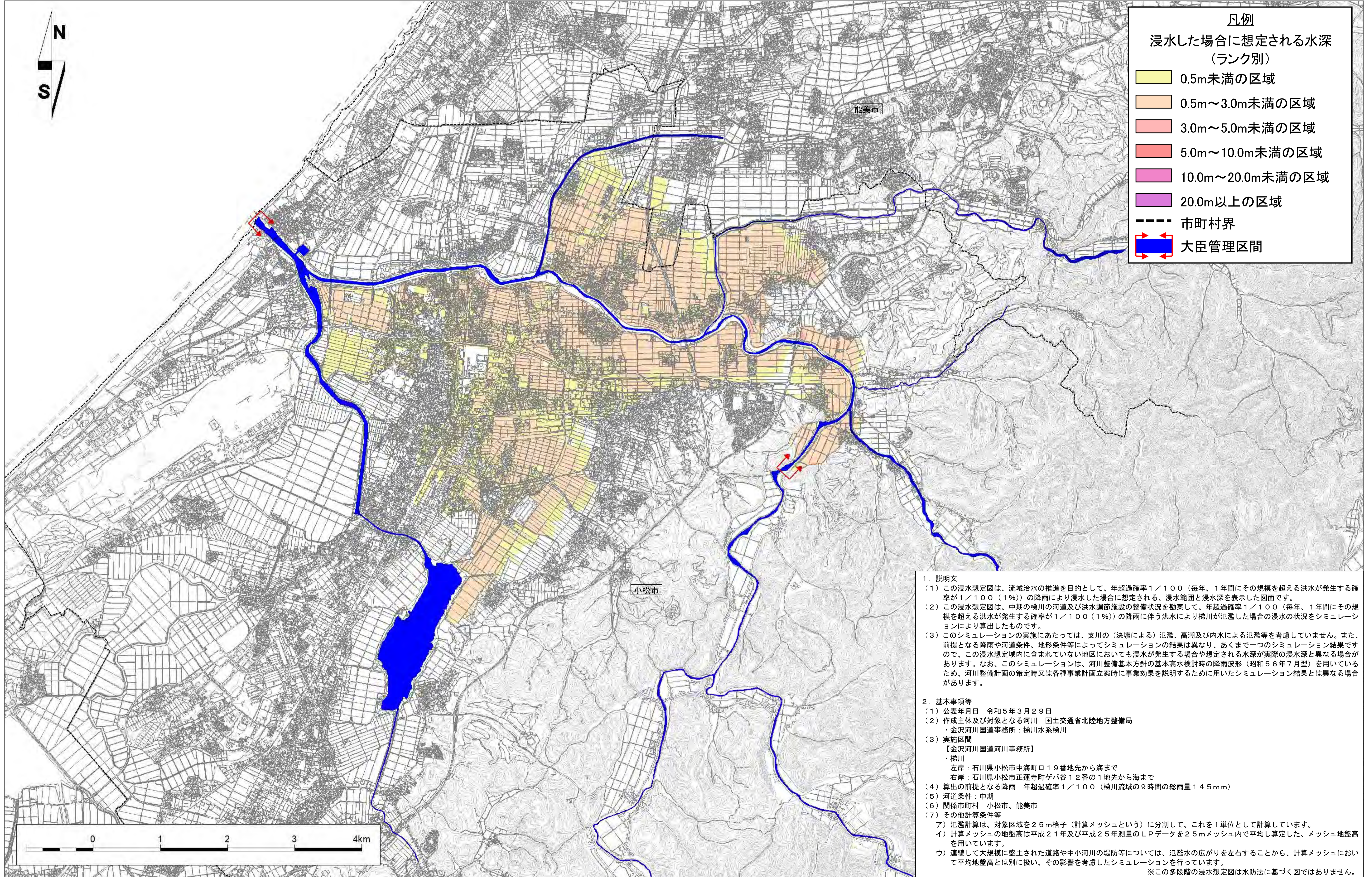


# 梯川水系 国管理河川の浸水想定図（1／100規模降雨）

## 【中期時点】



1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、中期の梯川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により梯川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和56年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和5年3月29日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局  
・金沢河川国道事務所：梯川水系梯川

(3) 実施区間  
【金沢河川国道河川事務所】  
・梯川  
左岸：石川県小松市中海町口19番地先から海まで  
右岸：石川県小松市正通寺町ゲバ谷12番の1地先から海まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/100（梯川流域の9時間の総雨量14.5mm）

(5) 河道条件：中期

(6) 関係市町村 小松市、能美市

(7) その他計算条件等

ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。

イ) 計算メッシュの地盤高は平成21年及び平成25年測量のLPデータを25mメッシュ内で平均し算定した、メッシュ地盤高を用いています。

ウ) 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の広がりや左右することから、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。